

2023年6月10日

第53回東京鶴翔同窓会実行委員会（第3回）議事録

日時：2023年6月10日(土) 10時00分～12時00分

場所：日本橋公会堂 2階第1洋室

出席者：19名（順不同、敬称略）

役員 会長：坂田敬一

副会長：梅津準士

大泉 正

幹事 常任幹事：坂田俊次

事務局 事務局長：岡部次樹

事務局次長：杉山恵子 伊藤美津子 石川康博

53回実行委員 (74)真田充、衣笠博子

(84) 鈴木良清、松田豊一、三木美智、匹田秀二、富樫嘉美、
砂原実喜子、高橋牧子 (web)

(94) 武谷克裕 (web)、藤田美鈴

1. 開会

2. 坂田会長挨拶

10年前に実行委員長を経験した。10年前は必死だった。真田委員、衣笠委員やその当時多くいた女性にバックアップしていただいた。実行委員長は立っているだけで、周りがバックアップする組織になっていて、凄い組織だと思った。今回も周りのバックアップをよろしく願います。

3. 出席者自己紹介

初参加の武谷委員、高橋委員が自己紹介した。その後、全員が自己紹介した。

4. 第53回実行委員長・鈴木良清 挨拶

会場部会がスタートして、来週から広告部会が本格的に活動する。いよいよ本番に入ってきたので、皆さんよろしく願います。

5. 議題

各部会の進捗状況

② 広告部会（鈴木良清）

広告部会の進捗について報告した。

- ・86の候補に対して担当を振り分けて活動中。

- ・6月12日にオンライン会議をして、6月19日の週に郵送できるように準備中。

広告依頼事項について協議した。

(広告依頼全体)

- ・発送日が決定したら、岡部事務局長に連絡して同封する会報を受け取る。
- ・広告依頼について郵送物とHPと擦り合わせる必要がある。
 - 発送前に伊藤事務局次長に内容を確認していただく。
- ・今年度はHPに入金方法を掲載することにする。
 - 紙面もHPに記載通りとするかについては、広告部会で協議する。協議した内容は、伊藤事務局次長に連絡する。
- ・広告依頼に広告申込の流れについての資料があると、新規に依頼する人の中には出してみようと思う人がいると思う。
 - 広告部会で広告依頼の資料として何を同封するかを決定して、事務局に連絡する。
- ・広告部会が広告作成の流れとやり取り方法を理解する必要がある。引継ぎ資料を確認すること。
- ・広告部会専用メールアドレスがある。メールが届くと広告部会長の中里委員に自動転送されるように設定している。データとメール文のやり取りは中里委員が担当するが、PWを入力すれば他の委員や事務局もメールを確認することができる。
- ・広告依頼時には、振込取扱票を同封しない。
- ・広告依頼の書類はA4が入る角2型封筒で郵送する。角2型封筒は家庭用プリンターでは宛名印刷できないので、

(会報への広告掲載のお願い)

- ・副題として記載の“南校”は“南高”に訂正する。
- ・副題の“んだばよ”は方言としてしっくりしない感じがあるので、“んだばの”に変更する。
- ・テーマである“こいだば、行がねばねの～！”の文字を大きくして、サブテーマである“んだばの、「南高」。思いは続くよどこまでも”の文字を小さくしてテーマの上段に置く。この表記は、広告掲載のお願いだけでなく、全てにおいて統一する。
- ・依頼人は昨年と同様に、会長、実行委員長、広告部会長とする。
- ・同封物として振込取扱票を削除する。

(広告掲載の募集要項)

- ・今年度の広告は1枠のみを案内し、その他希望を相談とする。
- ・今年の総会は昨年より1週間早いので、広告掲載の募集要項に記載の同窓会誌発行日は9月末ではなく、9月中旬に修正する。
- ・発行部数3,500部→3,000部に修正する。広告掲載のお願いも同様に修正する。

- ・入稿データの注意点が枠から外れて記載されているので、枠内に入れて見やすいように修正すること。
- ・入稿データの注意点の記載事項について、広告部会長と事務局会報担当の佐藤雄喜さんと打ち合わせすること。
- ・昨年は入稿データについての案内を入れた。この資料を見ると広告の出し方が分かるので、新規の方が広告を出す気持ちになりやすいと思われる。今年度どうするかについて、広告部会で協議すること。
- ・銀行口座名を変更した。杉山事務局次長名ではなく、“東京鶴翔同窓会”に修正する。
- ・入金締切日はHPにも記載するので、確定後に伊藤事務局次長に連絡する。

(広告掲載のお申込み方法)

- ・広告掲載の問い合わせは、広告の中里委員のみとする。(広告についての問い合わせは、会報部では回答できない。)
- ・記載内容は同封する FAX 用紙も HP、手紙と合わせる。

(スケジュール)

- ・広告原稿の締め切りは、7月22日で、会報部へ完成原稿渡しの締め切りは8月11日とする。7月22日の締め切りに無反応の広告主がいるので、催促の電話をして原稿受領の最終締め切りを8月8日とする。

③ 会報部会 (富樫嘉美)

会報の構成案 (改定3部) について説明した。

- ・南高最後の年であり、高校・校舎へのメモリーも募集する。
- ・会費納入者は会報に掲載する。
- ・テーマは「コイダバイガネバネノ」とカタカナ表記としたい。

会報構成について協議した。

- ・会報その他に記載する同窓会の表記を統一したい。11月3日に開催するのは、第53回東京鶴翔同窓会の総会である。実行委員会は鶴翔同窓会の実行委員ではなく、総会と親睦会の実行委員会である。
 - 会則では、総会と親睦会を併せて総会としている。
 - 昨年より総会と親睦会を分けて表記している。会報は修正されていない。
 - 11月3日に開催されるのは、「第53回東京鶴翔同窓会総会」という名称にする。場合によっては、「第53回東京鶴翔同窓会・親睦会」という表記にしてもよい。
- ・テーマに沿って全てを案内しているので、会報でもテーマとサブテーマの2つを一緒に案内した方がよい。文字は、案内するメインテーマを大きく、サブテーマを小さくなど、表記するサイズのバランスも会報・広告依頼手紙で統一する必要がある。

- ・テーマ表記を皆で協議して、“こいだば、行がねばねの～！”にしたと思う。会報の表紙が“コイダバイガネバネノ”のカタカナ表記になっているのはどうか。広告依頼と統一した方がよいと思う。
 - ・こいだば、行がねばねの～がテーマだが、“行がねばねの”という気持ちになるものがない。行がねばねという思いになる内容を全面に出したものにしてほしい。
- 南高が最後だということになるのでは。
- 会報部、会場部ともに内容を協議する。
- ・会報にイベントを掲載するので、会場部は大きいイベントを早目に検討する。
 - ・原稿依頼を急ぐので、内容を早目に会報部で詰めること。

④ 会場部会（匹田秀二）

会場部会の進捗説明をした。

- ・6/4(日)引継ぎ会を行った。
- ・9月以降に担当役割を決めた方がよいというアドバイスがあった。
- ・8月中までには会場ホテルと食事の内容と料金を決める必要がある。
- ・会場部の活動始めとして、部員と事務局の方でホテルに行って情報収集したい。

協議事項

- ・同窓会ホテルパックが値上がりしたので、コース料理は無理ではないか。
- ・世の中が値上げに向かっているので、会費をどうするかについて考える必要がある。
- ・会費の値上げは幹部会での決定事項になるので、早めにホテルと内容を詰める必要がある。
- ・イベントは会報に掲載するので、8月末までに会場部もある程度のことを決める必要がある。総会の内容を会場部会で協議すること。

6. その他

- ・出欠簿は部会ごとにまとめて、誰が何の部会に所属しているか分かるように作り直してほしい。

・第3回実行委員会

日時：2023年7月1日（土）14:00～16:00

場所：中央区立環境情報センター（京橋）研修室1

— 以上 —

議事録作成：藤田美鈴